

セッション番号: 2F-14

ゲノム合成と倫理ー基礎研究における社会との対話の可能性を探るー

Genome Synthesis and Ethics: Exploring the Possibility of Dialogue with Society in Basic Research

開催日時: 12月4日(木) 19:15-20:30

会場: 第14会場(4F「419」)

講演言語: 日本語 / Japanese

オーガナイザー:

田川陽一 (Yoh-ichi Tagawa)

東京科学大学 生命理工学院

見上公一 (Koichi Mikami)

慶應義塾大学 理工学部



概要:

科学が社会との対話を進め、良好な関係を築くことが求められるようになって久しい。生命科学でもゲノム科学や幹細胞研究などを中心として、そのような対話の活動が積極的に進められてきた。しかし、医療や食品などの形で人々の生活に直接影響を与えることを目指した応用研究に比べると、基礎研究の場合はその意義を社会に理解してもらうことのハードルは高い。それでも、そのような活動を行なう必要性は年々高まっている状況がある。そこで、本フォーラムでは、JST CREST「ゲノム合成」領域と JST RISTEX「ゲノム倫理」研究会が連携して行ってきた、研究の倫理的・法的・社会的側面(ELSI)の論点の抽出および社会との対話の取り組みについて、その中心にいた研究者の視点から振り返る。実際の経験を通じた気づきだけでなく、その過程で抱いた楽しさや不安、不満なども併せて共有することで、今後より多くの研究者が社会との対話に一步踏み出すための後押しをしたい。

スケジュール:

19:15-19:25 オーガナイザーによる趣旨説明

19:25-19:35 ボトムアップ合成生物学に倫理的問題はあるか

市橋伯一 (Norikazu Ichihashi) 東京大学 大学院総合文化研究科

19:35-19:45 ゲノム合成のセルフリー技術とその事業化における倫理

末次正幸 (Masayuki Su'etsugu) 立教大学 理学部

19:45-19:55 「細胞の中に大きな DNA を入れるデバイス」と対話から生まれる ELSI 論点

山西陽子 (Yoko Yamanishi) 九州大学 大学院工学研究院

19:55-20:00 対話を振り返って(1)

塩見春彦 (Haruhiko Siomi)

JST CREST 「ゲノム合成」領域 総括・千葉大学

20:00-20:05 対話を振り返って(2)

信原幸弘 (Yukihiro Nobuhara)

JST RISTEX 「ゲノム倫理」研究会 代表

20:05-20:30 質疑応答・総合討論



協賛: JST RISTEX 「ゲノム倫理」研究会

https://www.jst.go.jp/ristex/internal_research/elsi/genome/casestudy/index.html

